

1984・11

第 6 号

しろこぼと

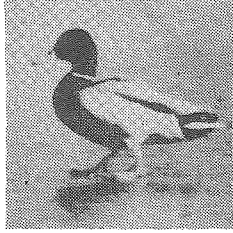
— 日本野鳥の会埼玉県支部 —



今年も会える冬鳥たち

最近野鳥情報が多くて、予報コーナーを書けないでいる内に、いつの間にかぐっと寒くなってもう冬。冬鳥たちは、もう一通りそろっています。今月号は冬鳥特集。県内でわりと普通に会える冬鳥たちを御紹介します。

マガモ

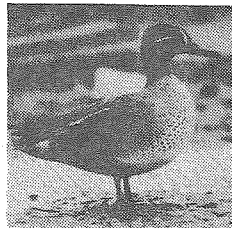


全長59cm。雄の頭は緑色光沢のある黒色、白いくび輪があって、胸はぶどう色。頭の緑色が目立ち、アオクビなどの俗名もあります。

県内各地の湖沼、池、川などに渡来する代表的なカモです。一番数が多いという意味ではなく、なんとなく、カモの中のカモという感じなのです。グエッグエッと鳴きます。

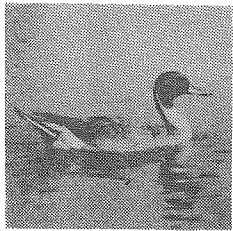
コガモ

全長37.5cm。名前の通り最も小さいカモ。雄の独特の顔模様と、お尻の黄色三角が目じるしです。秋早く渡って来て、春は遅くまで



います。9月17日浦和の探鳥会では、芝川から飛立ったカルガモの群れにまじって、3羽のコガモが見られました。雄はピリッピリッと鳴き、雌はクエークエエと高鳴きします。

オナガガモ

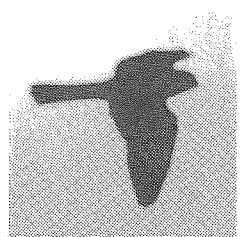


全長、雄は75cm、雌は53cm。雌雄で違うのは、雄の尾が長いからです。ブルブルッとつぶやくように鳴きます。上野不忍池で人に

餌をねだっているオナガガモを見て、最近のカモはダラクしていると言った人がいますが、その同じ個体が、他の場所では、ちゃんと野性の警戒心を失ってはいないのです。

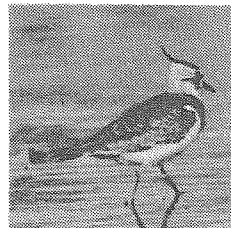
チョウゲンボウ

およそハトくらいの大きさのハヤブサ類。尾が長く見えます。頻繁にホバリングをするのも特徴です。冬は県内各地で見る事ができ



ます。9月23日谷津干潟探鳥会では、鳥合せの最中に1羽出ましたし、10月10日渡良瀬遊水池探鳥会では、同時に3羽が乱舞して、参加者全員じゅうぶんにたんのうできました。

タゲリ

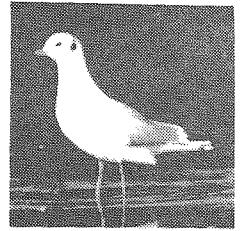


全長31.5cm。後頸から体の上面は黒く、緑色や淡紅色の金属光沢があります。後頭部の長い冠羽が目立ち、その容姿から「水辺の貴

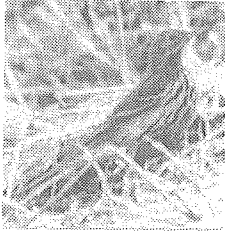
公子」とよべれます。カワセミやサンコウチョウなどに肩をならべて人気のある鳥です。先の丸い翼でふわふわと飛び、ミューと子猫に似た声で鳴きます。

ユリカモメ

全長40cm、目の後に黒斑があり、くちばしと足が赤色です。全国の海岸・河口などに冬見られ、川に沿って河口から50kmくらいまで



さかのぼります。従って、県南部ではわりと良く見られます。俗にいう「みやこどり」は本種であると言われ、東京都の鳥に指定されています。



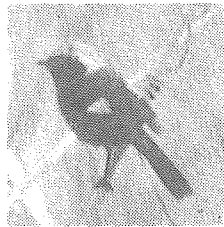
タヒバリ

スズメくらいの大きさ、尾が長めで全長約16cm。細目の体つきで、セキレイのなかまです。今回の冬鳥達の中で、最も地味な、暗色の鳥

です。県内各地の川岸・水田・湿った耕地などに見られ、地上を歩いて昆虫などを探し、立ちどまって尾を上下にふります。飛立つ時にチッチツツとか、ピッピツツとか鳴きます。

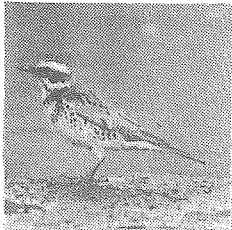
ジョウビタキ

全長14cm。冬の探鳥会で人気のある鳥で、公園や住宅地などでも良く見られます。杭や低い枝などにとまってヒッヒッカタカタと聞



こえる声を出してはベコッとおじぎをするように頭を下げ、尾を細かく振るあいきょう者です。雄は頭の灰白色、のどの黒、翼の白斑、体下面の橙色が目立ちます。

ツグミ

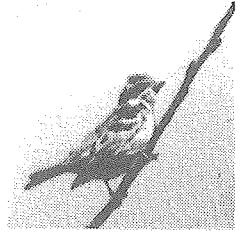


全長24cm、カスミ綱で密猟される事が多く、その苦難の旅は、遠藤公男著『ツグミたちの荒野』にくわしく述べられています。クイック

イッと鳴いて直線状に飛び、畑・芝生など開けた所において餌をとります。数歩はねて、胸をそらし、翼をさげた独特の姿勢で立ちどまります。

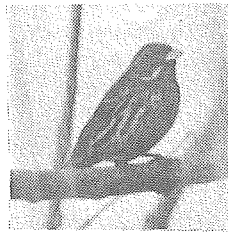
カシラダカ

探鳥会の鳥合せでよく聞かれる説明ですが、「タカ」という名がついていてもタカの仲間ではなく、短い冠毛を頭上に立てる事からそ



うよばれるホオジロの仲間です。全長15cm。チツ、チツと細い声で鳴きます。バードウォッチャーではない人には、多分スズメとの区別はつきにくいのではないのでしょうか。

アオジ

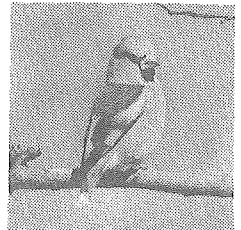


全長16cm、全体に緑色あるいは黄色っぽいホオジロの仲間。冬は市街地の公園や庭にも来て、やぶの中でツツ、ツツと地鳴きします。

カシラダカより声強い事で区別できます。ササや低木のよく茂った所にいる事が多いので、姿は見にくいのですが、探鳥会でも、声はよく聞くことができます。

シメ

全長18cm、頭が大きくてくちばし太く、尾は短くふとっていて、ずんぐりした感じ。チチツツとかキチツツなどと鋭い声で鳴き、飛び



ながらシーという声も出します。深い波状をえがいて飛び、枝にとまる時は、直立の姿勢をとります。落葉広葉樹の林にいて、青い晴天と明るい林が良く似合います。

ミコアイサ (ガンカモ科)

日本では北海道で少数繁殖するが、大部分は冬鳥として渡来し、内陸の湖沼・広い川のよどみ・入江などで越冬する。水面を身軽に

泳ぎ、よくもぐって魚を捕える。細いくちばしをもった日本でいちばん小さいアイサ。

表紙の写真 篠原五男さん

今月号のカットとタイトルは、鷹尾正済さんと子雀みゆきさんです。

パドウォッチング 野鳥へのアプローチ

私の鳥日記から

鈴木 暁子(鶴ヶ島町)

昨年5月16日高麗川にて、コチドリの巣をみつけた。目印をつけ近づく。親は丁度巣にいなかった。石を円形にし、中に小石を敷いたそまつな巣には、ヒナ2羽と卵が2つあった。ヒナは石と同じように堅く動かない。そっとふれても、目は開けたまま、石と同じようにしていた。私は本当に心を打たれ、その場を去った。たぶん親鳥はどこかで心を傷付けていたのではないかと思っている。

今では川原を歩くとき、石が時々コチドリのヒナに見え、そっと歩くようにしている。そして今年も行って見たが、ヒナはおろか巣にも逢う事が出来ず、護岸工事で起伏のなくなった川原に親鳥が鳴いているだけだった。

今年の4月26日、高麗川岸の藪の中でモズの怯える声を聞き近よる。目の前の木にヘビがまきつき、その中に鳥の足がみえるので、も

っと近づくと、まだまだ生きていてギャギャと鳴くのだ。思わず近くにいた主人に、「早く木の枝でヘビをたたいて」と叫びヘビの頭をたたきますと、ヘビも思わず尾をのばしてまきつかれていた鳥が下に落ちた。それはモズの幼鳥だった。親鳥は空からもすごい勢いで攻撃して来る。ヘビの頭と言わず腹と言わず、するどいくちばしでつつくのだ。本能とは思いながら親鳥の愛情を感じた。幼鳥は木の枝にのせようとしたが、まだとまる事が出来ず、地上に置いたが不安なので持ち帰り、上野の動物園に電話をしたが、保護をことわられ、鳥獣保護の鳥屋を紹介されたが、埼玉の鳥はだめとの事、埼玉県鳥獣保護課を知り、志木の獣医へつれて行く。鳥1羽でも東京と埼玉といろいろ難しい問題のある事を知った。

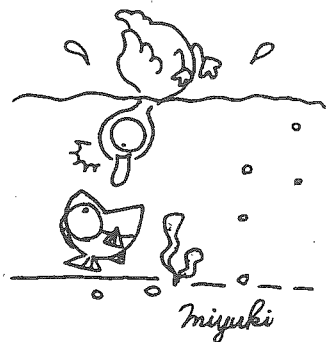
シギ・チドリ類全国一斉調査／県内の報告

9月15日に実施した調査の結果が集計できました。参加者36人、調査地点21か所(前号に22か所とあるのは間違いでした)で、鳥種別では、次の通りです。

シロチドリ……………110	タシギ……………90
イソシギ……………78	イカルチドリ…60
タカブシギ……………59	コチドリ……………51
ムナグロ……………33	クサシギ……………32
キアシシギ……………16	ジンギSP ……4
コアオアシシギ……2	ツルシギ……………2
ウズラシギ……………1	アカアシシギ…1
アオアシシギ……………1	合計 540

何と言っても光るのは、県下3回目の発見という珍鳥アカアシシギが利根川阪東大橋下

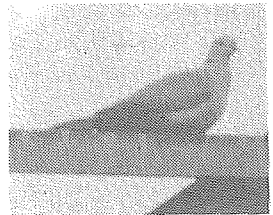
流で記録された事です。例年浦和市秋ヶ瀬で多数記録されているムナグロが少なかった事も特徴的です。地点別で最も鳥数が多かったのは、阪東大橋下流の140羽(6種)でした。



探鳥情報

イカル ◇8月26日、大宮市三橋4丁目の鴨川付近で数羽。(高橋君子)
 ケリ ◇9月9日午前8時すぎ、岩槻市増長の上空を6羽北へ飛ぶ。(石川敏男)
 カワセミ ◇9月9日、通船掘に約1年半ぶりに1羽現われる。(為貞貞人)
 チュウビ ◇9月15日正午頃、阪東大橋下流で1羽。(石井生高ほか2名)
 クイナ ◇9月15日午前9時頃、桶川市川田谷荒川河川敷に。(長野博行)
 アカアシシギ ◇9月15日午前11時、利根川阪東大橋下流で1羽。(石井生高ほか2名)
 アオアシシギ ◇9月15日、浦和市三室の芝川に1羽。(為貞貞人ほか5名) ◇9月16日午前7時半、1羽、10月4日午後3時、5羽、大宮市深作沼調整池に。(中島康夫)
 ノビタキ ◇9月15日午前10時頃、阪東大橋

下流で♀1羽。(石井生高ほか2名) ◇9月15日正午頃、熊谷市河原松山で♀1羽。(今井明巨)
 キンクロハジロ ◇9月16日午後4時すぎ、大宮市深作沼調整池に♂♀各1羽。(中島康夫)
 ツルシギ ◇9月16日午前7時半、大宮市深作沼調整池に2羽。(中島康夫)
 オグロシギ ◇9月22日午前9時半、大宮市三橋4丁目の鴨川に1羽。(森本国夫)
 カンムリカイツブリ ◇9月30日午前11時頃、狭山湖で冬羽の1羽がカイツブリ2羽と。(原山 敦)
 シメ ◇10月1日、浦和市中尾の自宅上空を鳴きながら南へ通過。(草間和子)
 エリマキシギ ◇10月2日、大宮市三橋4丁目の鴨川に。 シラコバト 9月27日 騎西町にて(柴崎行雄)
 (石井 智)



会員の声

明治生まれの身で、探鳥会にはなかなか出られませんが、自宅庭には餌台を二つ作っており、シジュウカラやキジバトがよく来ます。時にはウグイスも来て、その声を妻が録音したりして楽しんでいます。

まったりな事をきちんと続けてさえいればいつかはむくわれるものと、私は自分の人生経験から信じています。新しい埼玉県支部、がんばってください。

佐藤 磐 夫(浦和市)

秋の声を聞くと、私の大好きな鴨達が北の国から大挙やって来ます。貴公子然としたマガモ、ツンとすましたオナガガモ、ユーモラスな顔に目立つ衣装のハシビロガモ、ナポレオン帽をかぶったヨシガモなど、それぞれが個性

豊かなファッションに身を包み、見る者の目を楽しませてくれます。又彼らにとっては、プロポーズの季節でもあるわけです。秋から春にかけての半年の間どんな鴨に会えるか楽しみです。

さあ、みなさん一緒に鴨さんに会いに行きましょう。 中島 康夫(蓮田市)

今日の夕暮れ。学校帰りのこと。いつものごとく、ちゃりんこをさっそうと(?)走らせておったんじゃ。そのときじゃった。…頭上でかすかなトリの声…「わっトリッ」…わしは電線に目をやったんじゃ。すると…あのオレンジのおくちにオレンジのあんよ。きょ恐怖のムクちゃんの群れ。それも50mほどつらなるときたもんだ。「ギャーッ」わしは死にものぐるいでペダルをふんだ。

なぜ?って。そりゃあんた、ムクちゃんの爆だん攻撃をうけたりしたら生きてゆけせんもん。あーこわかった。…めでたし。めでたし。 子雀 みゆき(川口市)



野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
受付は探鳥会当日です。予約申込みは必要

ありません。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡（なくても大丈夫）などをご用意ください。小雨決行です。

参加費は、一般＝100円、会員と中学生以下＝50円です。

11月4日(日) 熊谷市 大麻生

午前8時40分 秩父鉄道大麻生駅集合
(大宮7:31始発→熊谷8:10着→秩父鉄道乗換熊谷8:19発→大麻生8:29着/秩父鉄道寄居8:22発→大麻生8:40着)
12時頃解散。バードウォッチングウィーク全国一斉探鳥会。(担当・鈴木忠雄、堀越照雄、今井明巨)

12月2日(日)熊谷市 大麻生

午前8時40分 秩父鉄道大麻生駅集合
(大宮7:31始発→熊谷8:10着→秩父鉄道乗換熊谷8:19発→大麻生8:29着/秩父鉄道寄居8:22発→大麻生8:40着)12時頃解散。(担当・鈴木忠雄、堀越照雄、今井明巨)

11月11日(日) 桶川市 江川付近

午前9時桶川駅西口集合(浦和8:27→大宮8:33→桶川8:49着/熊谷8:20→桶川8:43着)午後2時頃解散。水辺の貴公子タゲリを探す。運が良ければケリも。(担当・長野博行)

12月9日(日)吉見町 吉見百穴付近

午前9時10分東武東上線東松山駅東口(寄居8:31発→森林公園駅で乗換→東松山9:06着/朝霞台8:19→志木8:21→川越8:38→東松山9:04着/南越谷7:50→南浦和8:04→北朝霞8:14→朝霞台駅乗換/大宮7:40→川越8:05→東武東上線へ乗換)または午前9時30分吉見百穴前集合。午後2時頃解散。タゲリや10種類くらいのカモ。カモをねらうオオタカも期待。(担当・田村照治、石井生高、長野博行)

11月18日(日)浦和市 三室地区(浦和市立郷土博物館共催) 参加費無料

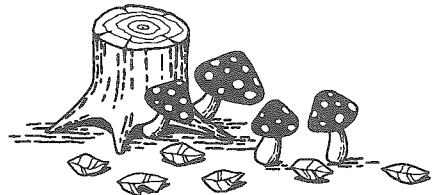
午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7:19発→大宮8:02→京浜東北線乗換)または午前9時市立郷土博物館前集合。午後1時頃解散。(担当・西城戸司)

12月16日(日)浦和市 三室地区(浦和市立郷土博物館共催) 参加費無料

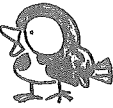
午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7:19発→大宮8:02→京浜東北線乗換)または午前9時市立郷土博物館前集合。午後1時頃解散。(担当・海老原美夫)

11月25日(日)寄居町 鉢形城跡と荒川

午前9時寄居駅南口集合(大宮7:31始発→熊谷8:10着→秩父鉄道乗換熊谷8:19発→寄居8:48着/東武東上線志木7:38発→川越7:50発→森林公園乗換→寄居8:45着/八高線東飯能7:37発→寄居8:39着)午後2時頃解散。雨に降られて中止になった、7月の探鳥会のやりなおし。(担当・田村照治、石井生高)



探鳥会報告

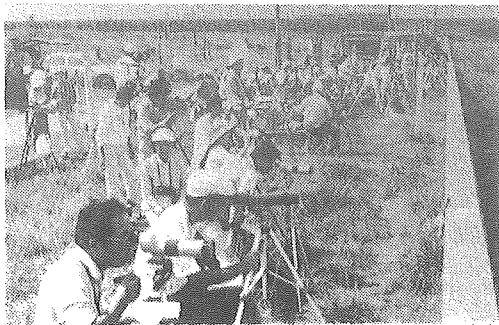


9月16日(日) 浦和市 三室地区

人 26人 天気 雨後曇 鳥 コサギ
カルガモ コガモ コジュケイ クサシギ
タカブシギ イソシギ タシギ シラコバト
キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ
セグロセキレイ ホオジロ スズメ コム
クドリ ムクドリ ハシボソガラス ハシブ
トガラス 以上20種 雨にもかかわらず参加
した人の熱心さに報いるように、ムクドリの
群に混ざってコムクドリの♂♀が現われた。

9月23日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

人 埼玉県支部32人 計90人 天気 晴
鳥 ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ
コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビ
ロガモ チョウゲンボウ シロチドリ メダ
イチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウ
ネン ハマシギ オバシギ キリアイ コア
オアシギ アオアシギ キアシギ イ
ソシギ ソリハシギ オグロシギ オオソ
リハシギ ダイシャクシギ ホウロクシギ
チュウシャクシギ ユリカモメ ウミネコ
キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ
ヒヨドリ スズメ ハシボソガラス 以上36
種 さすがシギ・チドリ類の宝庫。こんなに
たくさん見てしまって、シギチの識別の勉強
になったのかな、それとも、ますます頭が混
乱してしまったのかな。千葉県支部のみな
さん、お世話になりました。



谷津干潟探鳥会

9月24日(月、振休) 寄居町 鐘撞堂山

人 51人 天気 晴 鳥 ゴイサギ サ
サゴイ コサギ ハチクマ2 トビ4 サン
バ28土 コジュケイ キジバト コゲラ ツ
バメ イワツバメ セグロセキレイ ヒヨド
リ モズ ウグイス エゾビタキ シジュウ
カラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズ
メ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガ
ラス ハシブトガラス 以上26種 サンバが、
20羽位の鷹柱になってから、流れるように南
西の空に。トビとハチクマの空中戦も。

10月7日(日) 熊谷市 大麻生

人 31人 天気 曇 鳥 ダイサギ コ
サギ カルガモ コガモ ヒドリガモ トビ
コジュケイ バン イソシギ タシギ キ
ジバト カワセミ ヒバリ ショウドウツバ
メ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハク
セキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ノビタキ セッカ シジュウカラ メジロ
ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ
カケス オナガ ハシボソガラス ハシブト
ガラス 以上33種 旅の途中のノビタキ、今
井リ-ダーが名前まで付けてしまったカワセ
ミ君など、役者がちゃんと登場。

10月10日(水、振休) 渡良瀬遊水池

人 埼玉県支部26人 計69人 天気 曇
鳥 カイツブリ ダイサギ チュウサギ コ
サギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ
ヒドリガモ オナガガモ ミサゴ トビ
チュウヒ チョウゲンボウ クイナ バン
コチドリ ムナグロ ダイゼン コアオアシ
シギ アオアシギ クサシギ タカブシギ
イソシギ タシギ キジバト アマツバメ
ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ キセキ
レイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
ドリ モズ セッカ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス 以上43種 広大な空間
に、ミサゴ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ト
ビの乱舞。栃木県支部の皆さん、ありがとう
ございました。



ウトナイ湖サンクチュアリを守ろう

ウトナイ湖サンクチュアリが今、千歳川放水路計画を前に湿原の掘削、水位の低下などの危機に直面している。日本野鳥の会では、わが国最初のサンクチュアリを守るため、活発な活動を開始している(詳細は『野鳥』10月号を御覧下さい。)

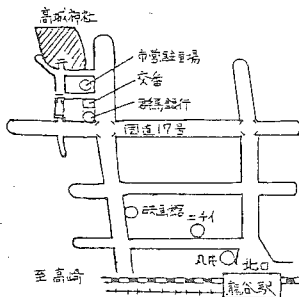
「葉書作戦」に参加しましょう。官製葉書に「ウトナイ湖サンクチュアリを守って下さい」のひと言と住所、氏名を添えて出しましょう。宛先は次の二人です。

〒110 東京都千代田区霞ヶ関3-1-1
北海道開発庁 北海道開発庁長官
稲村佐近四郎 様

〒060 札幌市中央区北三条六丁目
北海道庁
北海道知事 横路孝弘 様

スライドみながら忘年会

12月2日午後2時より、熊谷市高城神社にて。特別ゲストとして叶内拓哉氏をむかえてスライド大会も予定。会費3,000円。参加希望者は11月20日までに支部事務所へ連絡を。



現在の会員数

10月20日現在で393名です。

題字「しらこぼと」：日本野鳥の会会長・山下 静一

『しらこぼと』	1984年11月号(第6号)	頒価100円(会費に含まれます)
	発行人 今井昌彦	発行所 日本野鳥の会埼玉県支部
発行所事務所	〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号	
	電話0488(32)4062	
	郵便振替 東京9-121130 銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990	
印刷所	埼玉印刷株式会社	

会員の声 大募集

『しらこぼと』1月号では会員の声特集を予定しています。探鳥会での鳥や人とのふれあい、支部報や会の活動についての御意見や御感想など、お気軽にお寄せ下さい。



- 9月19日 川口市芝富士公民館より野鳥教室の依頼。
- 9月29日 『しらこぼと』10月号発送作業。
- 10月1日 熊谷市青少年相談員協議会より「歩け歩け」運動行事の協力依頼。
- 10月5日 第6回役員会
テレビ朝日より出演依頼。
- 10月6日 編集会議、事業部会。
- 10月8日 浦和電報電話局山際氏来局(星座情報テレホンサービスの件。)
- 10月13日 編集会議。



日本野鳥の会のバードウォッチング、ウィーク(11月1日~7日)も今年で3年目を迎えました。4日には全国一斉探鳥会が行われます。今月号の『しらこぼと』では県内の探鳥地で普通にみられる冬鳥の小特集を行いました。季節感があり、会員に親しみのある支部報をめざして、今後随時特集号を企画したいと考えています。テーマなどについてアイデアがございましたら編集部まで御一報下さい。(西城戸 司)

(無断転載を禁じます)